

静岡県月例経済報告

(令和5年9月号)

……令和5年7月を中心とした県内経済のすがた……

No. 569

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	6
・需要面	6
・生産面	14
・雇用面	16
・その他	19
III 静岡県主要産業の動向	23
IV データからみた県内主要産業	26

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryoku/getsureihoku/index.html>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和5年7月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和5年7月を中心とした静岡県の景気は、物価高騰等の影響から一部に弱さがあるものの、緩やかに持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待される中、物価高騰や海外経済の動向等に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きに落ち着きがみられる。

- ・ 個人消費は、持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加している。
- ・ 輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・ 生産は、弱い動きとなっている。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、持ち直している」

大型小売店販売額(7月)は、百貨店が3か月ぶり、スーパーが4か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも8か月連続で前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(7月)は、家電大型専門店が5か月ぶり、コンビニエンスストアが9か月連続、ドラッグストアが27か月連続、ホームセンターが3か月ぶりに前年実績を上回ったため、総額でも19か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(7月)は、軽自動車が11か月ぶりに前年実績を下回ったものの、乗用車が11か月連続で前年実績を上回ったため、総数でも11か月連続で前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(7月)は、分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家が6か月連続、貸家が3か月ぶりに前年実績を下回ったため、総数でも2か月連続で前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(7月)は、6か月ぶりに前年実績を下回った。

「設備投資は、増加している」

日銀短観(6月調査)の令和5年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(7月)は、3か月ぶりに前年実績を下回った。

「輸出は、おおむね横ばいとなっている」

「輸入は、前年を下回った」

輸出総額(7月)は、エアコンが2か月連続、二輪自動車類が21か月ぶりに下回ったものの、原動機、自動車の部分品、科学光学機器がいずれも2か月ぶり、自動車が7か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

また、輸入総額(7月)は、紙類及び同製品が2か月ぶり、原動機が7か月ぶり、自動車の部分品が4か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品、パルプがいずれも2か月連続、木材が8か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも4か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、1,227億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、弱い動きとなっている」

鉱工業生産指数(7月)は、業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械が2か月ぶり、輸送機械が5か月連続で前年水準を上回ったものの、電気機械が4か月ぶり、化学が3か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品が9か月連続、食料品・たばこが2か月連続で前年水準を下回ったため、総合でも2か月連続で前年水準を下回った。また、前月比は2か月連続で減少した。

なお、鉱工業在庫指数は、総合では2か月ぶりに前年水準を下回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きに落ち着きがみられる」

有効求人倍率(7月)は1.22倍となり、前月を0.04ポイント下回った。全国値を0.07ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員(7月)は、4か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数(6月)は、19か月連続で前年実績を上回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を下回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高(7月)は、前年同月比 0.3%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額(7月)は、前年同月比 8.2%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を上回った」

企業倒産(8月)は、件数は15件(前年同月比 66.6%増)、負債総額は2,247百万円(同 8.0%増)と、いずれも前年実績を上回った。

<トピックス>



浜名湖花博2024

LAKE HAMANA HANAHAKU 2024

浜名湖ガーデンパーク会場

2024年

4/6 **土** - 6/2 **日**

9:30~17:00

はままつフラワーパーク会場

2024年

3/23 **土** - 6/16 **日**

9:00~17:00

入場券
好評発売中

入場料

入場料	普通入場券				セット入場券				期間パスポート			
	大人		小・中学生		大人		小・中学生		大人		小・中学生	
	前売	当日	前売	当日	前売	当日	前売	当日	前売	当日	前売	当日
浜名湖ガーデンパーク	600円	800円	300円	400円	1,200円	1,700円	600円	850円	2,400円	3,200円	1,200円	1,600円
はままつフラワーパーク	700円	1,000円	350円	500円	—	—	—	—	—	—	—	—

※はままつフラワーパークは、東海地方の観光資源を最大限に活用し、はままつフラワーパークで楽しむことができます。入場料は、通常の入場料とは異なります。入場料は、通常の入場料とは異なります。入場料は、通常の入場料とは異なります。

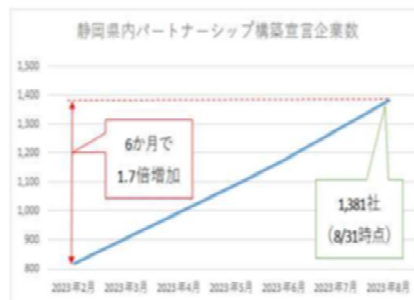
主催・お問い合わせ | 浜名湖花博20周年記念事業実行委員会 | 〒430-0929 浜松市中区中央1丁目12-1 (浜松総合庁舎5階) | 受付時間: 月曜~金曜 8:30~17:00, 土日・前日除く
| 浜名湖ガーデンパーク会場に関するお問い合わせ | 浜名湖花博2024実行委員会 | TEL: 053-482-7350 | はままつフラワーパーク会場に関するお問い合わせ | 浜松市緑政課 | TEL: 053-457-2565

浜名湖花博2024 検索



静岡県は、「パートナーシップ構築宣言」を促進しています！

- 令和5年6月7日に産官労の3者で「**パートナーシップ構築宣言の普及・促進と実効性向上に向けた共同宣言**」を行い、「**適切な価格転嫁**」の気運醸成に連携して取り組んでいます。
- 宣言登録数が増加傾向にあるなど、「**適切な価格転嫁**」の実現に向けた取組は進んでいます。
- 静岡県では、適正な取引に向けた価格交渉に関するお悩みを解決するため、「**相談窓口などの情報をとりまとめたホームページ**」で公開しましたのでご活用ください。



価格交渉に困ったら

適正な取引に向けた価格交渉に関するお悩みを解決するため、相談窓口などの情報を掲載しています。



まず何をすればよいか分からない、そんなときにご覧ください。

何をすればいいかわからない

どこに相談していいかわからない

価格交渉に踏み出せない

(1) 交渉のプロセスを知る

(2) 交渉の準備をする
(材料費や労務費のデータ収集、「原簿」の把握)

(3) 支援窓口を頼る

右記QRコードからご覧ください。



静岡県 経済産業部 産業政策課

<トピックス> 業種別の経済・雇用情勢

① 県制度融資の申込状況

(令和5年9月22日時点)

区分		申込状況		
		金額	件数	業種別の状況
R2 ～4	新型コロナウイルス感染症対応枠(旧) 【R2.2.12～4.17終了】	億円 2,334	件 8,158	卸小売業23.5%、製造業22.0%、建設業17.1%、飲食業12.8%、宿泊・旅行業3.5%、運輸業2.9%等
	国連携新型コロナウイルス感染症対応貸付 【R2.5.1～R3.3.31】	億円 8,064	件 53,666	建設業26.0%、卸小売業19.8%、製造業19.5%、飲食業7.9%、運輸業2.9%、宿泊・旅行業1.3%等
	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R2.4.28～R5.3.31】	億円 872	件 5,790	建設業31.7%、卸小売業18.7%、製造業15.0%、飲食業7.9%、運輸業3.4%、宿泊・旅行業1.7%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R3.4.1～R5.3.31】	億円 620	件 3,802	建設業25.7%、卸小売業21.3%、製造業20.3%、飲食業10.0%、運輸業3.9%、宿泊・旅行業2.6%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R3.4.1～R5.3.31】	億円 30	件 127	製造業41.7%、卸小売業27.6%、運輸業9.4%、建設業8.7%、飲食業3.1%、宿泊・旅行業3.1%等
R5	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R5.4.1～】	億円 53	件 355	建設業37.2%、卸小売業19.7%、製造業14.9%、運輸業4.8%、飲食業2.8%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R5.4.1～】	億円 503	件 2,750	建設業23.5%、卸小売業22.7%、製造業22.4%、飲食業6.5%、運輸業4.4%、宿泊・旅行業0.7%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R5.4.1～】	億円 4	件 12	製造業58.3%等
計		億円 12,480	件 74,660	リーマンショック時：保証料承諾額 1,749億円 (H20.9～H21.8：1年間) 東日本大震災時：保証料承諾額 553億円 (H23.4～H24.3：1年間)

② 県内の新規求人数(季節調整値)の推移

業種別新規求人(一般+パート) 前年同月比の推移

(%)

区分	R4年 9月	10月	11月	12月	R5年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
農・林・漁	5.6	21.5	11.1	▲34.0	5.1	9.8	▲19.9	▲22.7	▲22.0	▲31.0	▲3.9	▲28.3
建設業	3.9	▲0.3	▲2.9	▲3.1	▲14.0	▲8.6	▲0.5	▲8.5	▲7.0	▲3.9	▲9.9	▲2.0
製造業	10.6	3.1	▲2.0	▲3.4	▲7.2	▲16.4	▲18.1	▲4.8	▲13.4	▲17.4	▲12.8	▲17.7
卸売・小売業	46.6	9.9	12.9	29.7	▲2.1	9.3	19.9	19.1	2.6	▲3.5	14.6	▲16.8
金融、保険 不動産業	31.5	17.0	7.7	14.5	▲9.1	11.1	6.3	▲13.7	18.4	▲2.9	▲6.1	12.1
運輸業	13.2	0.8	6.8	▲12.9	▲10.7	▲17.3	▲8.7	9.6	▲2.6	▲5.3	▲3.2	▲4.2
情報通信業	▲5.4	9.0	11.0	1.1	▲12.4	15.5	▲22.0	▲6.6	17.6	▲22.3	7.0	7.1
飲食、宿泊 サービス業他	16.9	11.5	19.1	8.3	4.0	7.0	5.0	▲5.1	16.4	0.3	▲17.8	2.7
県全体	14.3	5.6	5.5	3.2	▲1.8	▲1.4	▲1.5	0.4	▲0.8	▲6.6	▲2.4	▲6.0

(出典：静岡県内の最近の雇用情勢(静岡労働局))

③ 県内企業の倒産状況

業種別倒産件数(負債金額1千万円以上)の推移

(件)

区分	R4年 9月	10月	11月	12月	R5年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
農・林・漁・鉱業	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
建設業	3	6	3	1	1	4	5	2	2	2	8	6
製造業	3	4	4	6	4	6	4	3	3	2	5	2
卸売・小売業	3	6	1	4	4	4	8	4	3	4	5	2
金融、保険 不動産業	1	1	1	2	3	1	1	0	2	0	2	0
運輸業	0	1	1	1	3	2	0	0	0	0	0	0
情報通信業	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
飲食、宿泊 サービス業他	4	4	3	4	3	2	10	2	6	7	4	5
県全体	16	22	14	18	19	19	30	11	17	15	24	15
うちコロナ 関連倒産	8	5	2	5	8	3	11	8	2	9	5	4

(出典：東京商工リサーチ静岡支店調べ)

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

7月 = 38,847百万円

*前年同月比： 3.3%増

(県内3百貨店、157スーパー合計)

<概況>

7月の大型小売店販売額は38,847百万円で、前年同月比 3.3%増となり、8か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 4.1%増）が3か月ぶり、スーパー（同 3.2%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、家庭用品（同 2.0%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、衣料品（同 9.8%増）が2か月連続、身の回り品（同 7.7%増）が2か月ぶり、飲食料品（同 2.2%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は4.9%増と、13か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
販売額(百万円)	46,593	38,668	33,556	36,551	35,630	37,198	36,227	38,847
前年同月比(%)	2.6	2.7	0.1	0.3	2.7	0.1	0.9	3.3
うち百貨店(%)	▲2.2	2.6	7.9	6.5	4.4	▲0.2	▲0.2	4.1
スーパー(%)	3.7	2.7	▲1.2	▲0.9	2.4	0.2	1.0	3.2
(参考1)全国前年同月比(%)	3.6	5.3	4.7	3.2	4.8	3.4	4.1	5.5
うち百貨店(%)	4.0	14.8	20.3	9.9	8.9	6.6	7.2	8.8
スーパー(%)	3.5	2.2	▲0.0	0.7	3.4	2.3	2.9	4.3
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	3.0	3.2	0.9	0.9	3.0	2.0	2.4	4.9

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
衣料品	3.6	4.0	8.5	2.4	5.3	▲0.4	1.1	9.8
うち紳士服・洋品	12.4	13.5	14.5	7.7	10.0	4.5	4.3	14.4
婦人・子供服・洋品	0.6	2.2	8.1	1.8	5.2	▲0.7	1.0	9.5
身の回り品	▲2.1	7.5	13.3	2.0	11.8	7.1	▲1.7	7.7
飲食料品	3.6	3.1	▲1.1	▲0.5	2.4	0.2	0.3	2.2
家庭用品	▲7.9	▲6.8	▲10.8	▲10.8	▲8.2	▲10.5	2.1	▲2.0
うち家庭用電気機械器具	▲8.7	▲10.8	▲16.5	▲13.5	▲11.7	▲19.6	5.2	▲5.2

(注)店舗数調整済、全月速報値

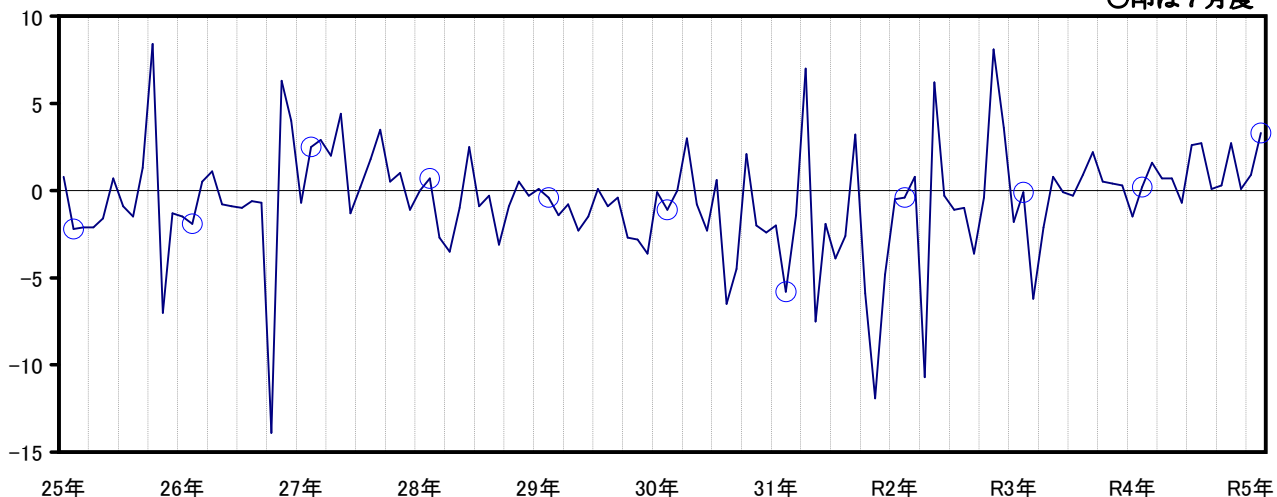
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は7月度



(2) 専門量販店等販売額

7月 = 84,147百万円

*前年同月比：5.4%増

(県内93家電大型専門店、1,662コンビニエンスストア、596ドラッグストア、108ホームセンター合計)

<概況>

7月の専門量販店等販売額は84,147百万円で、前年同月比5.4%増となり、19か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比1.5%増）が5か月ぶり、コンビニエンスストア（同3.4%増）が9か月連続、ドラッグストア（同9.3%増）が27か月連続、ホームセンター（同4.3%増）が3か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
販売額（百万円）	86,005	74,378	68,228	77,815	75,121	76,578	75,162	84,147
前年同月比（%）	6.2	2.8	4.8	2.3	5.2	2.9	2.0	5.4
うち 家電大型専門店（%）	7.6	▲1.2	1.4	▲4.3	▲4.8	▲4.3	▲7.8	1.5
コンビニエンスストア（%）	2.1	2.5	4.4	3.5	3.9	2.5	0.8	3.4
ドラッグストア（%）	10.9	6.5	7.9	5.5	10.8	8.8	8.2	9.3
ホームセンター（%）	4.0	▲3.0	▲0.7	▲4.3	2.3	▲6.0	▲2.7	4.3
(参考)全国前年同月比（%）	5.4	2.9	4.5	3.8	4.2	3.8	2.9	6.5

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

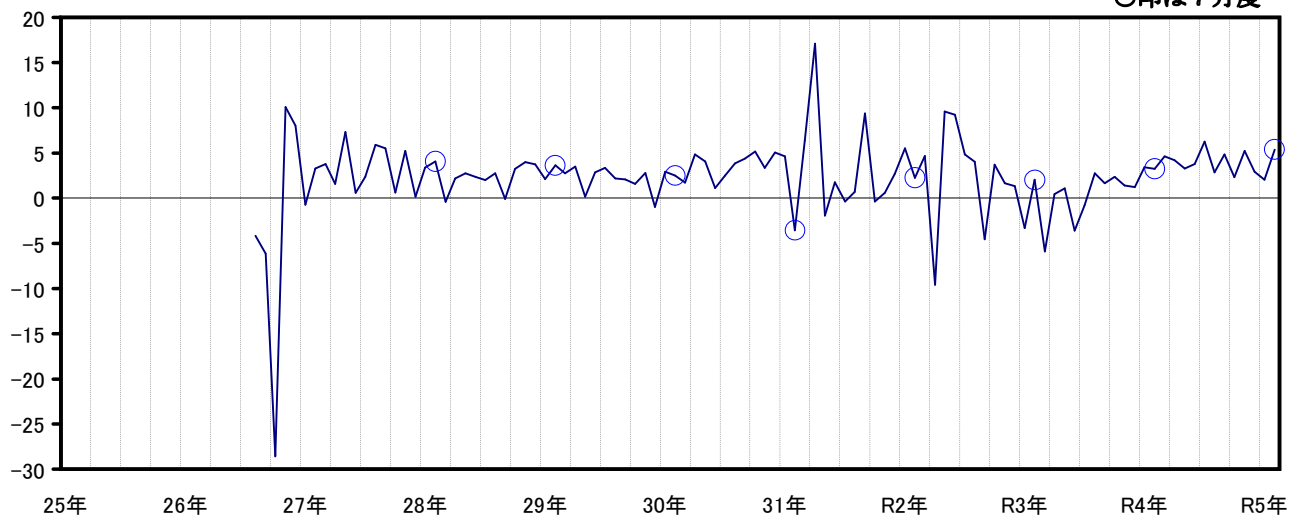
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は7月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数

7月 = 12,119 台

*前年同月比： 1.6%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

7月の自動車(新車)新規登録台数は12,119台(前年同月比1.6%増)と、11か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、軽自動車(前年同月比14.2%減)が11か月ぶりに前年実績を下回ったものの、乗用車(同16.8%増)が11か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
登録台数(台)	13,441	14,319	15,853	19,853	11,913	11,291	13,003	12,119
前年同月比(%)	10.4	14.1	18.2	9.7	16.5	22.8	14.4	1.6
(参考)全国前年同月比(%)	1.5	17.4	22.9	12.1	18.5	28.4	23.9	11.4

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全乗用車	10.4	14.1	18.2	9.7	16.5	22.8	14.4	1.6
乗用車	3.4	7.6	25.8	17.1	30.8	35.0	24.4	16.8
軽自動車	18.7	21.1	11.0	2.2	4.0	11.5	4.5	▲14.2

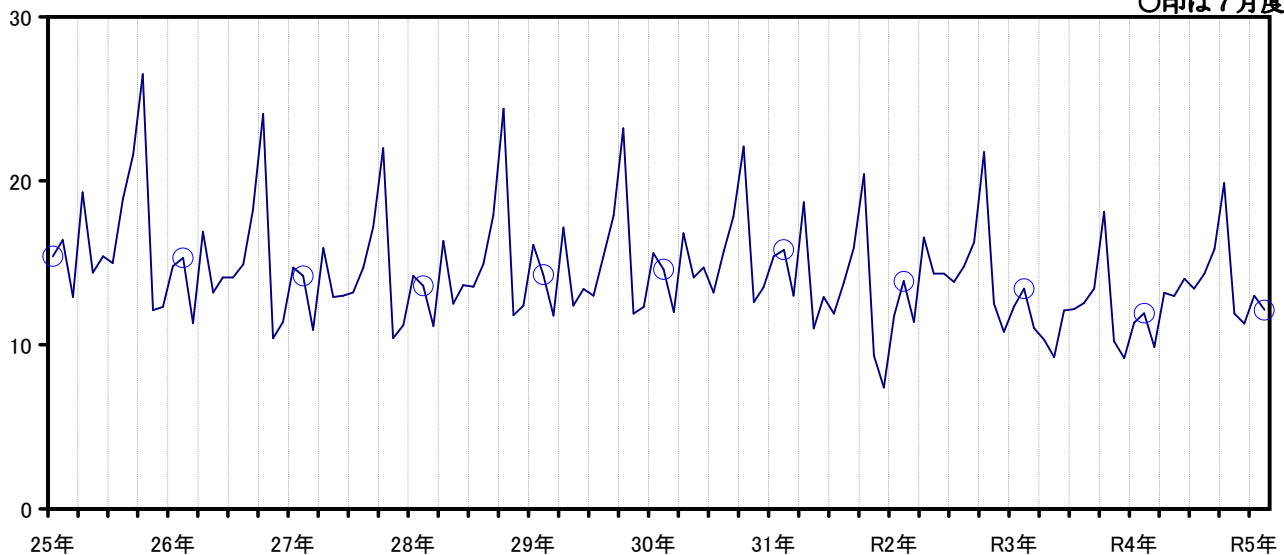
<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課

○印は7月度



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

7月 = 1,712 戸

*前年同月比： 7.6%減

<概況>

7月の新設住宅着工戸数は1,712戸で、前年同月比 7.6%減と、2か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、分譲住宅（年同月比 40.1%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家（同 6.9%減）が6か月連続、貸家（同 27.5%減）が3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 4年12月	R 5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
戸数（戸）	1,678	1,553	1,509	1,656	1,713	1,672	1,621	1,712
前年同月比（%）	▲ 2.0	19.4	▲ 2.7	▲ 4.3	0.4	5.4	▲ 7.3	▲ 7.6
うち持家（%）	▲ 15.4	0.7	▲ 8.8	▲ 15.5	▲ 7.8	▲ 11.1	▲ 14.6	▲ 6.9
貸家（%）	30.8	26.2	8.3	29.2	▲ 12.9	17.3	13.0	▲ 27.5
分譲住宅（%）	▲ 9.5	69.0	▲ 35.8	▲ 29.2	33.5	34.5	▲ 16.6	40.1
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 1.7	6.6	▲ 0.3	▲ 3.2	▲ 11.9	3.5	▲ 4.8	▲ 6.7

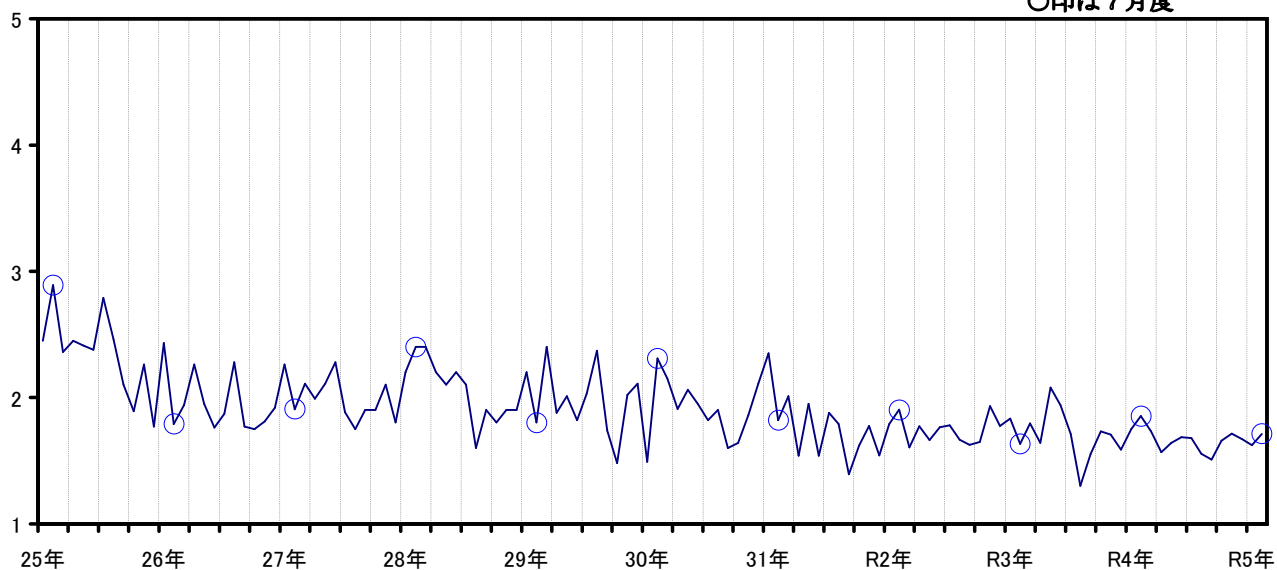
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は7月度



3 公共工事請負金額

7月 = 27,166百万円

*前年同月比：10.6%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

7月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は27,166百万円で、前年同月比10.6%減となり、6か月ぶりに前年実績を下回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は760件で、前年同月比4.1%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
金額（百万円）	12,675	10,855	19,256	30,045	54,507	40,649	35,790	27,166
前年同月比（%）	▲32.3	▲21.8	62.3	15.6	2.2	35.5	6.8	▲10.6
年度累計前年同月比（%）	▲14.2	▲14.6	▲11.9	▲10.0	2.2	14.2	12.1	7.4
件数（件）	421	301	316	627	500	612	844	760
前年同月比（%）	▲4.5	27.5	52.7	30.1	▲3.7	17.2	9.8	4.1
年度累計前年同月比（%）	▲8.4	▲7.2	▲5.4	▲3.1	▲3.7	6.8	8.1	6.9

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
国	28.4	▲17.1	9.1	▲39.5	▲35.9	11.2	▲0.5	▲76.1
独立行政法人等	▲59.8	▲31.8	618.7	43.8	30.8	33.3	▲80.8	▲34.6
県	▲18.6	75.2	36.6	27.7	0.0	49.1	15.9	34.9
市町	▲26.2	6.6	89.7	56.7	▲7.9	28.3	31.2	▲12.0
地方公社	▲75.0	5.1	-	-	▲92.5	-	757.4	▲67.0
その他	▲39.0	▲84.3	961.5	86.0	84.4	101.4	▲62.3	▲74.3

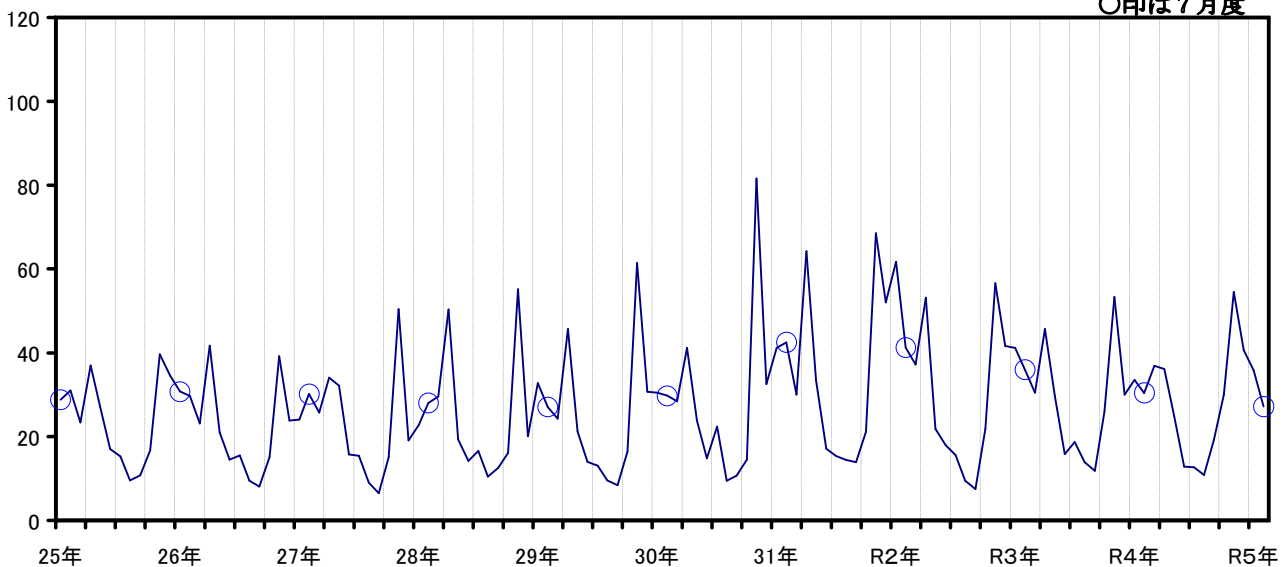
<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

○印は7月度



4 設備投資

<概況>

令和4年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、非製造業で減少し、製造業、全産業においていずれも増加した。

令和5年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 29.6%増）、非製造業（同 3.8%増）、全産業（同 17.9%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 16.5%増）、非製造業（同 5.2%増）、全産業（同 13.8%増）においていずれも増加する計画となっている。

7月の着工建築物床面積（非居住用）は105,191㎡で、前年同月比 57.1%減となり、3か月に前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比%（ ）内は前回調査比修正率）

設備投資（含む土地投資）

		R4年度 (実績)	R5年度 (計画)
全産業	県	(▲5.2) 9.1	(▲2.3) 17.9
	全国	(▲2.0) 9.2	(5.5) 11.8
製造業	県	(▲10.9) 19.2	(▲4.2) 29.6
	全国	(▲5.8) 9.0	(1.9) 15.1
非製造業	県	(2.7) ▲1.1	(0.5) 3.8
	全国	(0.3) 9.3	(7.7) 9.9

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R4年度 (実績)	R5年度 (計画)
全産業	県	(▲3.2) 12.6	(1.7) 13.8
	全国	(▲3.3) 7.4	(4.1) 12.4
製造業	県	(▲5.1) 17.5	(1.5) 16.5
	全国	(▲4.2) 8.5	(2.2) 11.5
非製造業	県	(3.3) ▲1.0	(2.0) 5.2
	全国	(▲2.2) 6.2	(6.3) 13.3

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和5年6月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和5年6月調査)」

<最近の動き>

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	166,101	118,993	65,360	107,220	78,061	134,431	138,959	105,191
前年同月比（%）	32.2	26.1	▲1.0	10.3	▲21.8	2.7	30.3	▲57.1
（参考）全国前年同月比（%）	▲28.6	20.4	▲3.8	▲22.7	▲1.3	▲17.0	▲34.2	▲27.5

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R5年3月	R5年6月	R5年9月 (予測)
全産業		▲1	4	6
	製造業	▲12	▲4	▲2
	非製造業	8	12	13
（参考）全国・全産業		5	8	7

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和5年6月調査)」

5 輸出

7 月 = 234,264百万円

*前年同月比： 2.1%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

7月の清水税関支署管内の輸出総額は234,264百万円で、前年同月比 2.1%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 20.6%減）が2か月連続、二輪自動車類（同 7.6%減）が21か月ぶりに下回ったものの、原動機（同 2.8%増）、自動車の部分品（同 36.1%増）、科学光学機器（同 0.6%増）がいずれも2か月ぶり、自動車（同 60.0%増）が7か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、アジア向け（同 10.4%減）が8か月連続、米国向け（同 0.1%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、EU向け（同 24.2%増）が11か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
輸出総額(百万円)	248,239	179,143	210,327	235,298	224,715	191,860	224,383	234,264
前年同月比(%)	25.2	13.4	13.6	3.0	5.0	5.2	0.0	2.1

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
原動機	77.0	27.3	40.6	6.4	15.4	27.5	▲17.2	2.8
エアコン	70.2	111.7	123.2	37.9	51.4	2.8	▲18.2	▲20.6
自動車	▲13.3	91.1	51.3	109.4	37.7	13.0	53.0	60.0
自動車の部分品	▲11.5	▲11.1	▲20.4	▲18.4	▲9.9	8.0	▲10.7	36.1
二輪自動車類	92.1	17.9	23.6	12.2	7.6	23.8	29.4	▲7.6
科学光学機器	18.1	2.3	38.9	19.4	2.6	15.0	▲0.1	0.6

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
アジア	▲2.6	▲5.4	▲13.1	▲13.5	▲13.9	▲13.1	▲13.1	▲10.4
米国	42.7	22.4	40.4	▲0.7	15.8	5.9	▲7.2	▲0.1
EU	64.6	33.4	40.5	28.9	29.9	43.6	25.4	24.2

<資料>清水税関支署

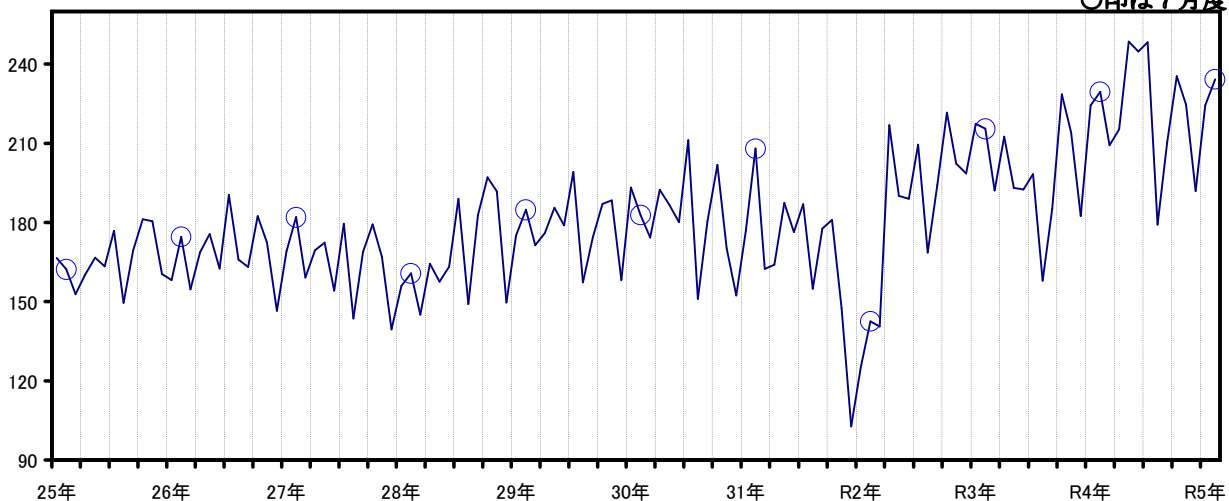
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津)の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は7月度



6 輸入

7月 = 111,559百万円

*前年同月比： 7.2%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

7月の清水税関支署管内の輸入総額は111,559百万円で、前年同月比 7.2%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、紙類及び同製品（前年同月比 7.3%増）が2か月ぶり、原動機（同 2.7%増）が7か月ぶり、自動車の部分品（同 38.2%増）が4か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品（同 18.7%減）、パルプ（同 41.1%減）がいずれも2か月連続、木材（同 35.5%減）が8か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、米国から（同 18.7%増）、EUから（同 12.9%増）がいずれも2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、アジアから（同 4.8%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
輸入総額(百万円)	148,260	136,519	133,116	133,157	122,996	121,341	124,329	111,559
前年同月比(%)	41.4	31.1	36.4	20.2	▲10.3	▲0.3	▲7.7	▲7.2

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
魚介類及び同調製品	17.1	41.4	3.6	10.9	▲18.4	5.7	▲27.1	▲18.7
木材	▲40.6	▲14.3	▲49.1	▲10.5	▲9.7	▲19.4	▲45.5	▲35.5
パルプ	38.2	25.0	▲1.5	7.7	▲34.7	16.8	▲25.0	▲41.1
紙類及び同製品	30.0	9.4	15.7	58.0	0.3	19.3	▲12.8	7.3
原動機	11.0	▲58.1	▲29.4	▲53.2	▲43.9	▲5.3	▲25.4	2.7
自動車の部分品	10.1	24.6	▲6.8	▲3.9	12.1	24.0	53.4	38.2

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
アジア	24.3	55.1	3.4	32.5	▲3.2	▲14.8	8.3	▲4.8
米国	266.4	39.8	370.6	27.5	23.0	98.1	▲22.1	18.7
EU	36.1	30.9	3.9	▲30.6	▲5.2	15.6	▲9.5	12.9

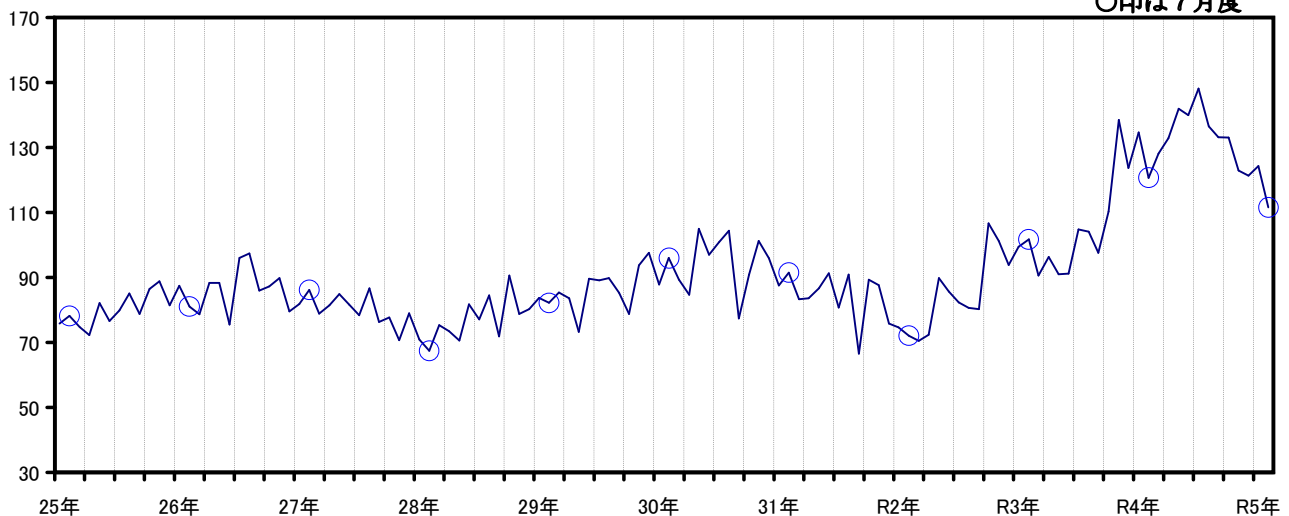
<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は7月度



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

7月 = 90.8

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 2.5%減

*前年同月比(原指数) : 3.7%減

<概況>

7月の鉱工業生産指数(総合)は90.8(季節調整済指数)で、前月比は2.5%減と、2か月連続で減少した。また、前年同月比(原指数)は3.7%減と、2か月連続で前年水準を下回った。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比8.4%増)が2か月ぶり、輸送機械(同0.8%増)が5か月連続で前年水準を上回ったものの、電気機械(同17.9%減)が4か月ぶり、化学(同2.1%減)が3か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同6.3%減)が9か月連続、食料品・たばこ(同6.2%減)が2か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
指数	94.5	92.2	89.5	94.3	94.8	95.5	93.1	90.8
前月比(%)	0.7	▲2.4	▲2.9	5.4	0.5	0.7	▲2.5	▲2.5
前年同月比(%)	6.3	8.2	1.3	5.4	2.0	13.6	▲0.6	▲3.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.2	▲2.8	▲0.6	▲0.8	▲0.7	4.2	0.0	▲2.3

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

ただし、全国鉱工業指数は、令和5年4月から令和2年=100に改定

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
はん用・生産用・業務用機械工業	27.6	3.3	10.9	35.3	7.1	26.6	▲11.2	8.4
電気機械工業	6.9	▲1.5	4.0	▲11.9	6.6	46.2	10.1	▲17.9
輸送機械工業	5.3	35.1	▲3.7	11.5	5.9	16.1	6.1	0.8
化学工業	4.5	▲1.0	2.3	▲5.3	▲1.9	2.9	0.9	▲2.1
パルプ・紙・紙加工品工業	▲2.4	▲5.4	▲3.7	▲3.6	▲6.5	▲6.5	▲5.9	▲6.3
食料品・たばこ工業	1.0	▲1.9	1.6	2.6	▲4.6	5.8	▲7.9	▲6.2

(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

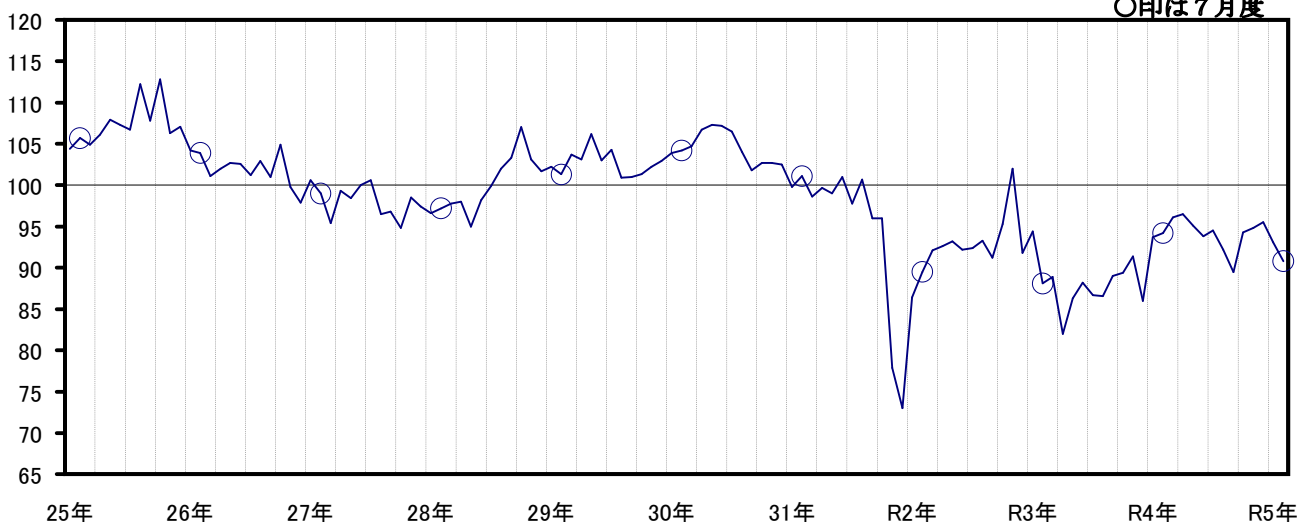
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課

○印は7月度



(2) 鋳工業在庫指数

7月 = 104.7

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 4.0%減

*前年同月比(原指数) : 3.3%減

<概況>

7月の鋳工業在庫指数(総合)は104.7(季節調整済指数)で、前月比は4.0%減と、2か月ぶりに減少した。また、前年同月比(原指数)は3.3%減と、4か月ぶりに前年水準を下回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫積み増し局面(景気拡大期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比 22.2%増)が7か月連続、電気機械(同 11.0%増)が12か月連続で前年水準を上回ったものの、輸送機械(同 26.2%減)が13か月ぶり、化学(同 0.4%減)が9か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 2.5%減)が2か月連続、食料品・たばこ(同 16.0%減)が4か月ぶりに前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R 4年12月	R 5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
指数	106.5	106.7	102.6	103.2	111.3	108.2	109.1	104.7
前月比(%)	▲ 2.6	0.2	▲ 3.8	0.6	7.8	▲ 2.8	0.8	▲ 4.0
前年同月比(%)	4.0	4.1	▲ 1.4	▲ 3.8	4.3	1.0	3.6	▲ 3.3
(参考)全国前年同月比(%)	2.7	2.4	1.6	2.3	6.0	7.3	5.9	5.7

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数
ただし、全国鋳工業指数は、令和5年4月から令和2年=100に改定

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 4年12月	R 5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 2.3	4.5	5.6	10.7	15.1	23.5	12.8	22.2
電気機械工業	29.0	18.0	17.3	9.0	10.1	15.7	13.6	11.0
輸送機械工業	25.1	63.1	2.7	19.8	11.8	22.6	12.6	▲ 26.2
化学工業	▲ 1.9	▲ 9.7	▲ 25.3	▲ 25.5	▲ 3.7	▲ 18.8	▲ 2.1	▲ 0.4
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 4.0	▲ 3.2	▲ 0.9	3.3	7.0	2.8	▲ 0.1	▲ 2.5
食料品・たばこ工業	10.4	10.5	27.4	▲ 7.3	24.0	5.4	9.7	▲ 16.0

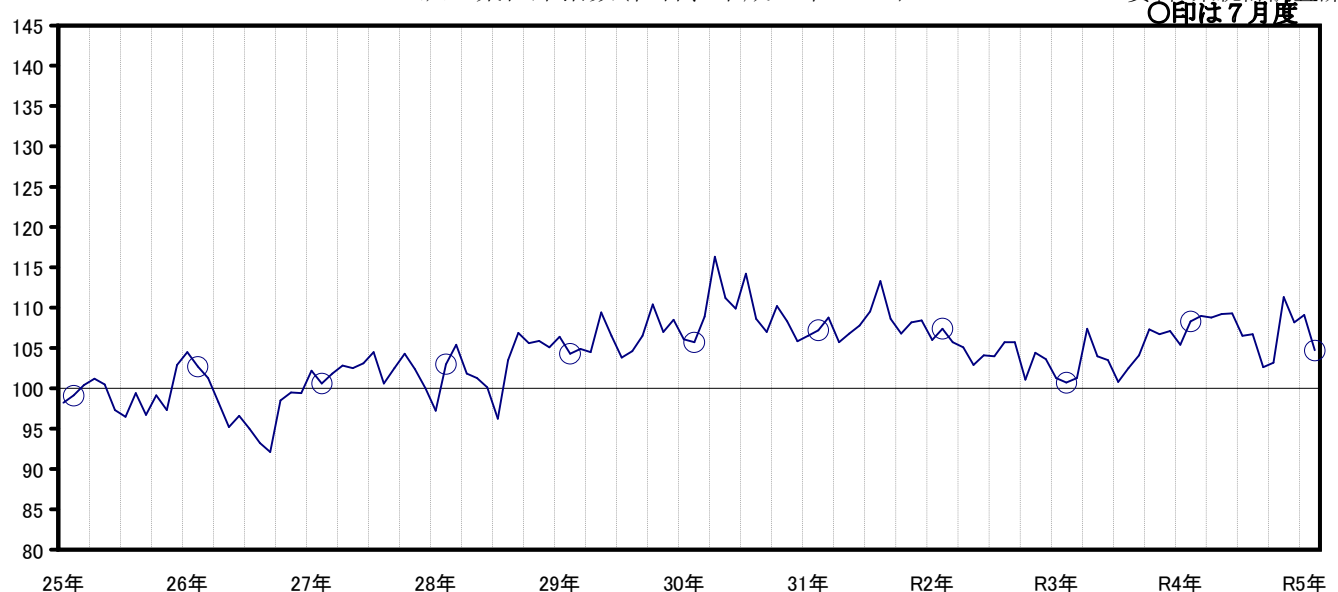
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

7月 = 1.22倍

*前月比(季節調整値) : 0.04ポイント減

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概況>

7月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.22倍となり、前月を0.04ポイント下回った。30か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.07ポイント下回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比1.0%減)は2か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、情報通信業(前年同月比7.0%増)、卸売業・小売業(同40.0%増)がいずれも2か月ぶり、医療・福祉(同3.7%増)が6か月ぶりに前年実績を上回ったものの、建設業(同10.9%減)が4か月連続、製造業(同9.6%減)が9か月連続、運輸業・郵便業(同1.3%減)が2か月連続、サービス業(他に分類されないもの)(同12.3%減)が3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
県	1.32	1.29	1.27	1.23	1.24	1.26	1.26	1.22
全 国	1.36	1.35	1.34	1.32	1.32	1.31	1.30	1.29

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
建設業	▲1.0	▲14.0	▲9.6	0.3	▲7.3	▲7.2	▲3.2	▲10.9
製造業	▲4.8	▲5.1	▲13.7	▲19.0	▲1.1	▲7.3	▲16.8	▲9.6
情報通信業	5.8	▲16.7	27.2	▲17.3	▲13.6	26.6	▲22.6	7.0
運輸業・郵便業	▲16.7	▲8.2	▲15.3	▲8.6	17.8	6.1	▲9.5	▲1.3
卸売業・小売業	36.1	▲5.4	7.1	23.6	34.6	12.0	▲2.2	40.0
医療・福祉	▲3.6	1.4	▲2.5	▲5.4	▲2.3	▲1.6	▲0.6	3.7
サービス業(他に分類されないもの)	9.9	5.2	0.8	▲2.1	▲5.1	7.8	6.7	▲12.3
合計	2.7	▲3.7	▲5.3	▲3.0	1.6	1.4	▲4.9	▲1.0

(注)学卒、パートタイムを除く

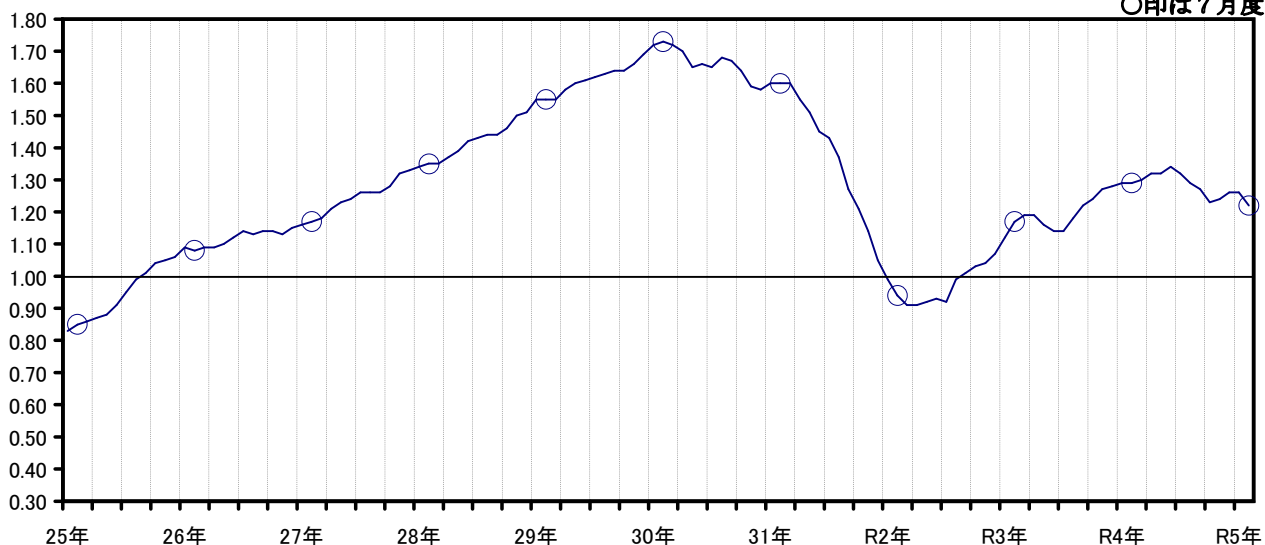
<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省

○印は7月度



(2) 雇用保険受給者実人員

7月 = 12,704人

*前月比: 5.3%増

*前年同月比: 6.3%増

<概況>

7月の雇用保険受給者実人員は12,704人で、前月比は5.3%増と、3か月連続で前月を上回った。また、前年同月比は6.3%増と4か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.7%と前月から0.2ポイント悪化した。

静岡県(令和5年4~6月)の完全失業率は2.3%で、前期(令和5年1~3月)と同水準であった。

<最近の動き>

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
実人員(人)	10,554	10,529	10,187	10,303	10,038	10,836	12,069	12,704
前月比(%)	▲2.5	▲0.2	▲3.2	1.1	▲2.6	7.9	11.4	5.3
前年同月比(%)	▲5.7	▲4.4	▲3.4	▲2.7	0.3	4.4	5.0	6.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲5.3	▲2.9	▲1.3	▲1.0	0.8	6.9	3.1	6.0

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
完全失業率(全国)(%)	2.5	2.4	2.6	2.8	2.6	2.6	2.5	2.7

(注)季節調整値

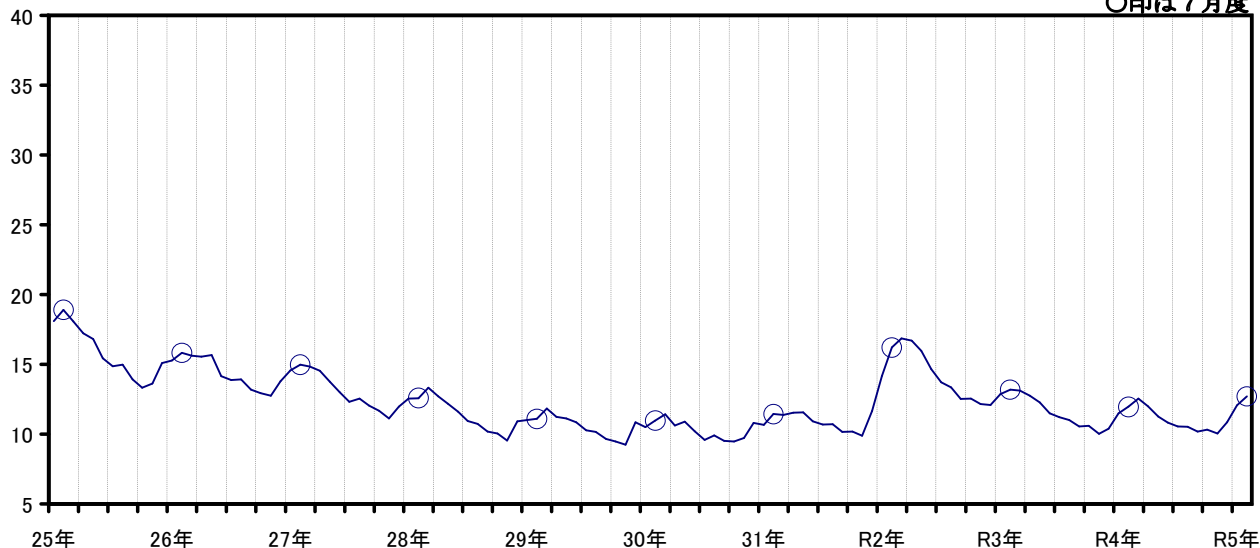
<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省

○印は7月度



(3) 所定外労働時間指数

6月 = 127.1

*前月比(季節調整済指数): 3.4%増

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 8.7%増

<概況>

6月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は127.1(季節調整済指数)で、4か月連続で前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は8.7%増と、19か月連続で前年実績を上回った。

業種別にみると、卸売業・小売業(前年同月比 25.6%減)、その他のサービス業(同 19.7%減)がいずれも6か月連続で前年実績を下回ったものの、建設業(同 37.8%増)が2か月ぶり、製造業(同 10.5%増)、運輸業・郵便業(同 4.6%増)がいずれも3か月連続、情報通信業(同 16.6%増)が3か月ぶり、医療・福祉(同 10.8%増)が3か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	117.1	117.9	116.9	115.1	115.5	117.8	122.9	127.1
前月比(%)	▲2.3	0.7	▲0.8	▲1.5	0.3	2.0	4.3	3.4
前年同月比(%)	13.8	13.4	1.7	0.8	2.5	2.4	2.6	8.7
(参考)全国前年同月比(%)	4.0	2.2	0.0	0.8	▲0.9	▲2.3	0.0	▲1.6

*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数 <資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月
建設業	▲37.3	5.2	▲30.3	▲0.7	▲1.2	7.9	▲7.8	37.8
製造業	12.3	6.8	2.1	▲4.4	▲3.8	2.7	3.9	10.5
情報通信業	24.7	14.8	▲1.8	32.7	10.0	▲8.2	▲4.6	16.6
運輸業・郵便業	▲15.7	▲14.0	▲7.7	▲6.6	▲4.1	9.1	3.5	4.6
卸売業・小売業	1.6	5.2	▲19.8	▲12.1	▲5.6	▲7.1	▲35.9	▲25.6
医療・福祉	27.6	34.4	17.8	1.3	5.8	▲5.2	0.0	10.8
その他のサービス業	60.8	64.3	▲12.9	▲15.8	▲4.0	▲12.9	▲20.5	▲19.7
調査産業計	13.8	13.4	1.7	0.8	2.5	2.4	2.6	8.7

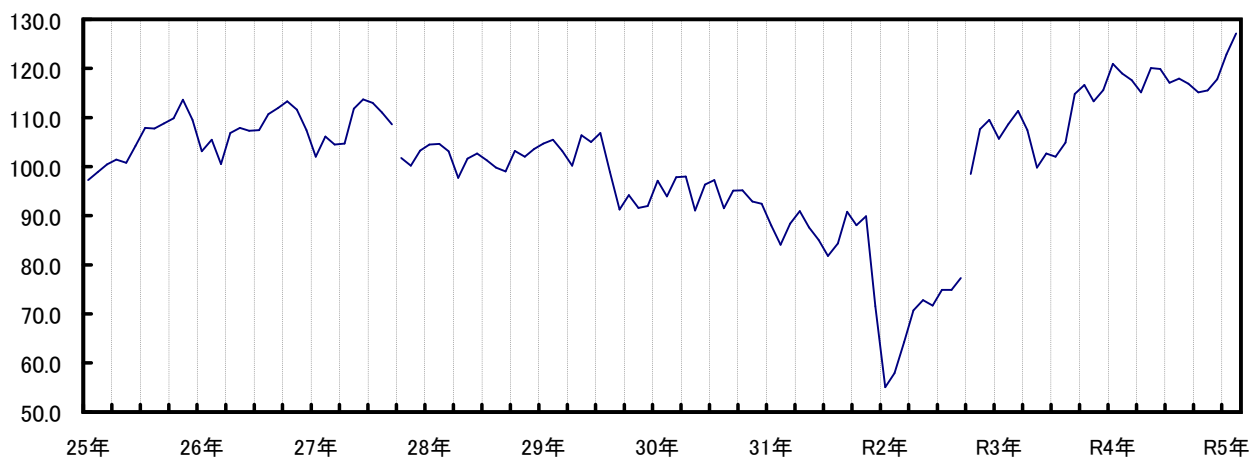
*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

(令和2年=100)

8月 = 119.6

*前月比: 0.3%上昇

*前年同月比: 3.2%上昇

<概況>

8月の国内企業物価指数は119.6となり、前月比は0.3%の上昇となった。また、前年同月比は3.2%の上昇となった。

	R 5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
国内企業物価指数	119.9	119.6	119.7	120.1	119.3	119.2	119.3	119.6
前月比 (%)	0.0	▲ 0.3	0.1	0.3	▲ 0.7	▲ 0.1	0.1	0.3
前年同月比 (%)	9.5	8.3	7.4	5.8	5.1	4.1	3.4	3.2

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

(銀行、信用金庫)

7月 = 142,257億円

*前月比: 0.3%減

*前年同月比: 0.3%減

<概況>

7月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は142,257億円で、前月比とは0.3%の減少となった。また、前年同月比は0.3%の減少となった。

	R 4年12月	R 5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
貸出残高(億円)	143,802	143,040	143,026	144,419	143,583	142,867	142,709	142,257
前月比 (%)	0.4	▲ 0.5	▲ 0.0	1.0	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 0.3
前年同月比 (%)	0.2	0.3	0.4	1.4	1.0	0.6	0.2	▲ 0.3

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

(県内地銀4行総平均)

7月 = 1.272%

*前月差: 0.007ポイント減

*前年同月差: 0.057ポイント減

<概況>

7月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.272%で、前月から0.007ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.057ポイントのマイナスとなった。

	R 4年12月	R 5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
貸出約定金利 (%)	1.303	1.298	1.296	1.292	1.291	1.286	1.279	1.272
前月差(ポイント)	▲ 0.005	▲ 0.005	▲ 0.002	▲ 0.004	▲ 0.001	▲ 0.005	▲ 0.007	▲ 0.007
前年同月差(ポイント)	▲ 0.070	▲ 0.072	▲ 0.068	▲ 0.063	▲ 0.058	▲ 0.058	▲ 0.055	▲ 0.057

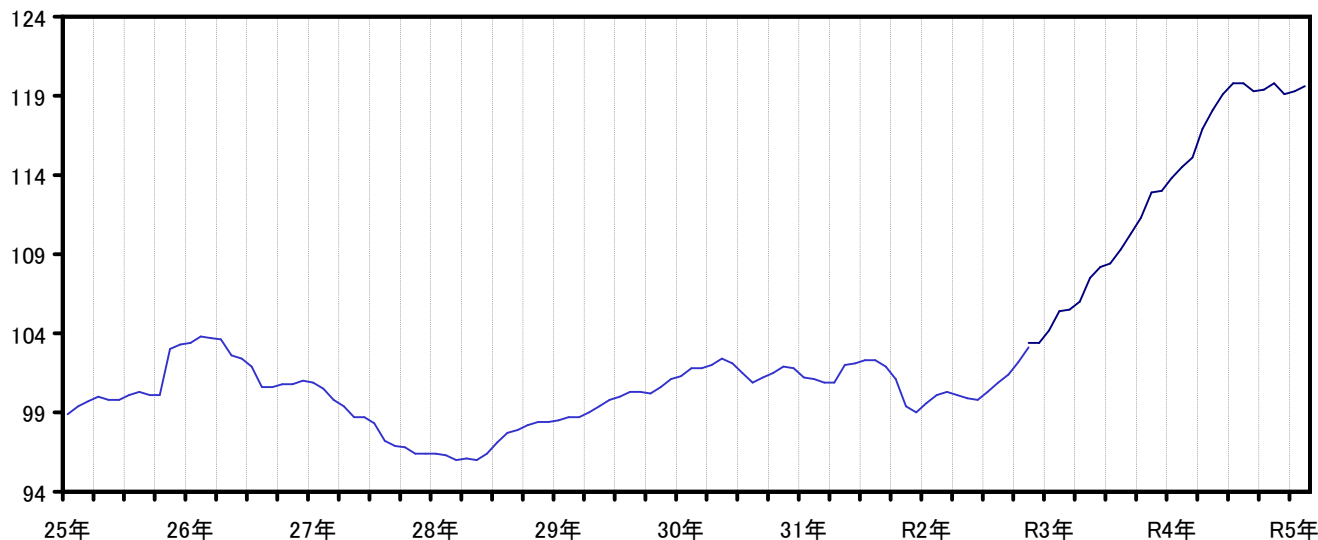
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

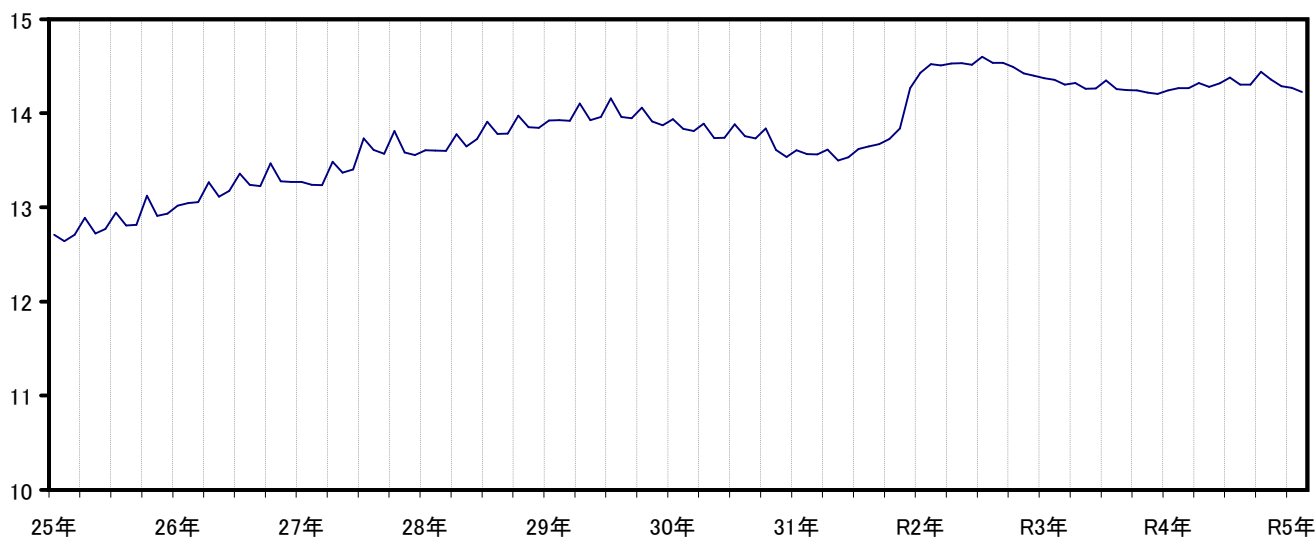
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



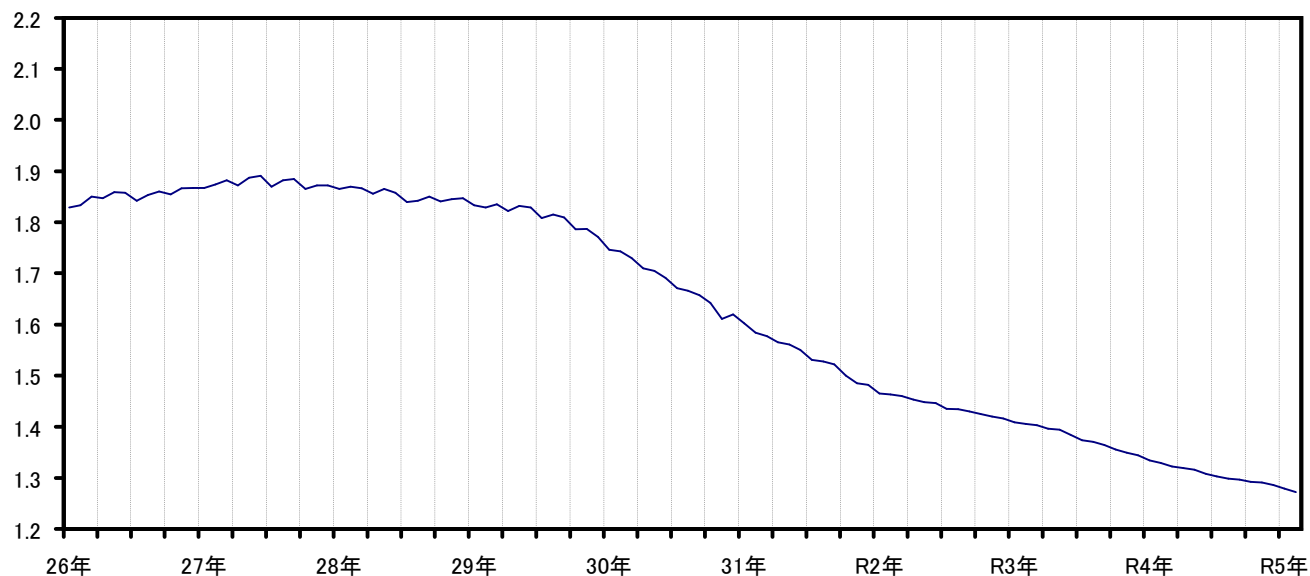
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**7月 = 25,377百万円**

*前年同月比： 8.2%増

<概況>

7月の保証承諾は、金額は25,377百万円（前年同月比 8.2%増）、件数は1,881件（同 8.1%増）と、いずれも前年実績を上回った。

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
保証金額（百万円）	32,259	17,702	21,917	35,976	15,395	22,849	28,390	25,377
前年同月比（%）	32.2	34.5	27.7	35.2	▲ 52.5	▲ 33.7	▲ 15.3	8.2
保証件数（件）	2,328	1,393	1,682	2,457	1,302	1,637	2,066	1,881
前年同月比（%）	3.9	8.9	4.4	2.8	▲ 23.2	▲ 13.8	1.8	8.1

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**8月 = 144.77円/ドル**

*前月差： 3.56円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 9.53円安

<概況>

8月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は144.77円で、前月と比べて3.56円の円安となり、4か月連続で円安となった。

<最近の動き>

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
平均相場（円）	130.20	132.68	133.85	133.33	137.37	141.19	141.21	144.77
前月差（円）	▲ 4.73	2.48	1.17	▲ 0.52	4.04	3.82	0.02	3.56
前年同月差（円）	15.37	17.48	15.34	7.29	8.59	7.33	4.58	9.53

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****8月 = 15件**

*前年同月比： 66.6%増

<概況>

8月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は15件（前年同月比 66.6%増）、負債総額は2,247百万円（同 8.0%増）と、いずれも前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が13件と全体の86.7%を占め、13か月連続で50%以上となっている。

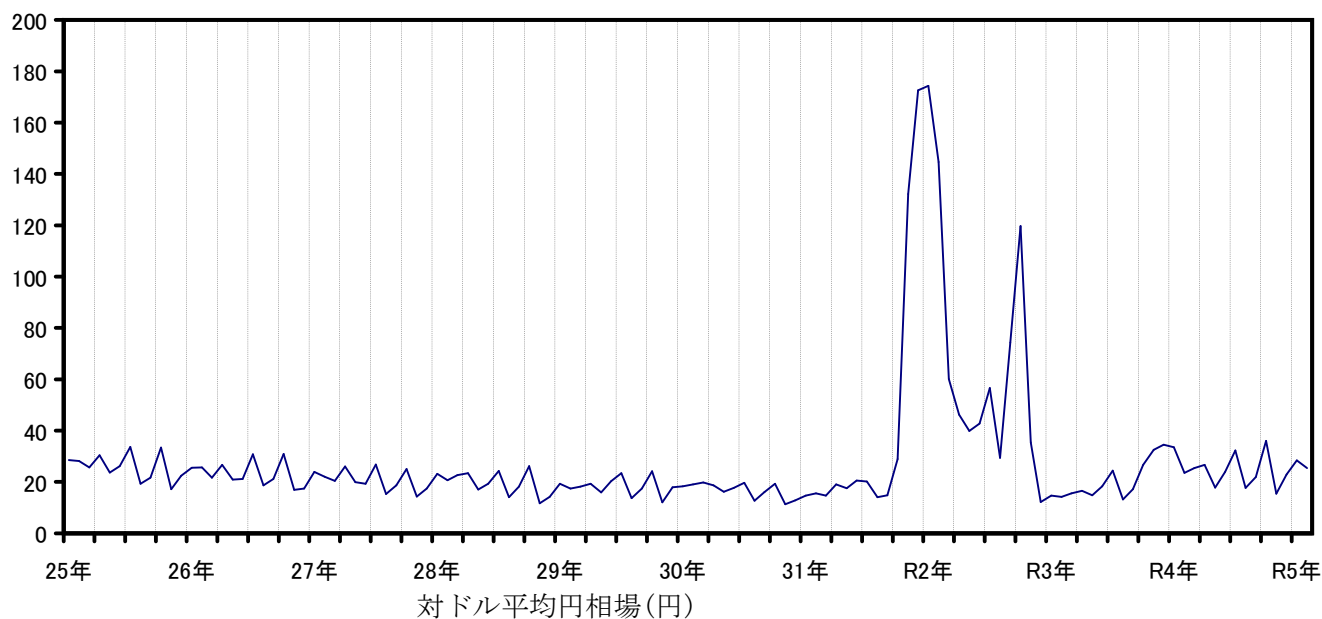
	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
倒産件数（件）	19	19	30	11	17	15	24	15
前年同月比（%）	137.5	171.4	87.5	▲ 42.1	▲ 5.5	0.0	380.0	66.6
うち不況型倒産件数（件）	14	19	22	7	11	13	19	13
負債総額（百万円）	2,015	1,355	3,669	627	3,470	1,630	19,697	2,247
前年同月比（%）	12.0	81.6	143.4	▲ 89.4	85.0	▲ 15.7	11,155.4	8.0

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

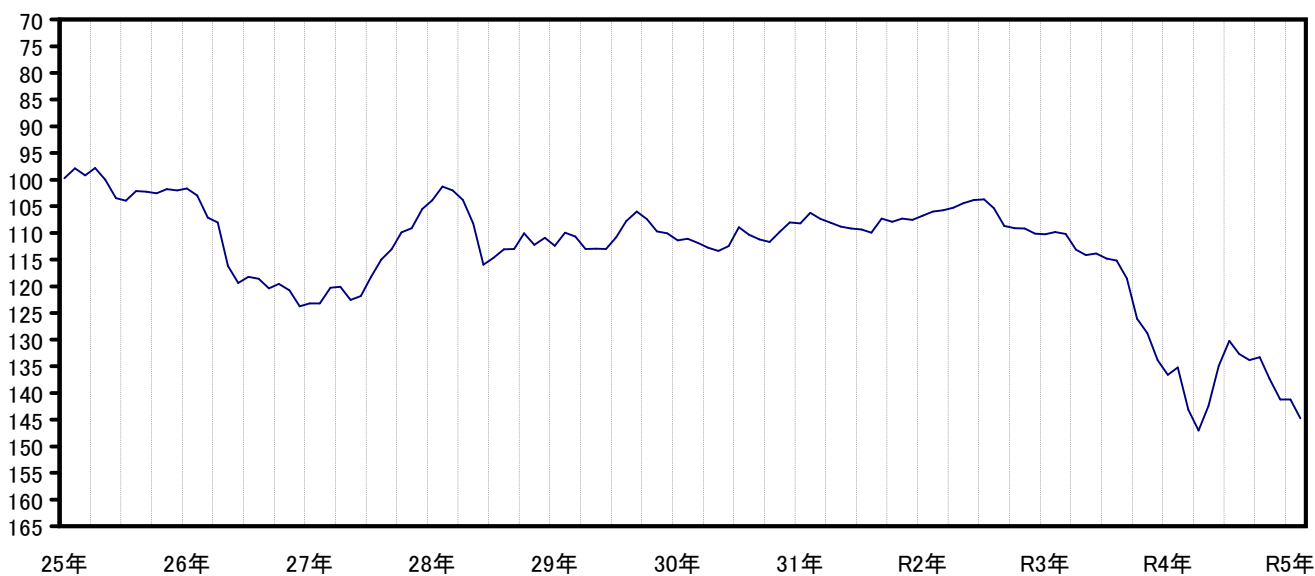
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

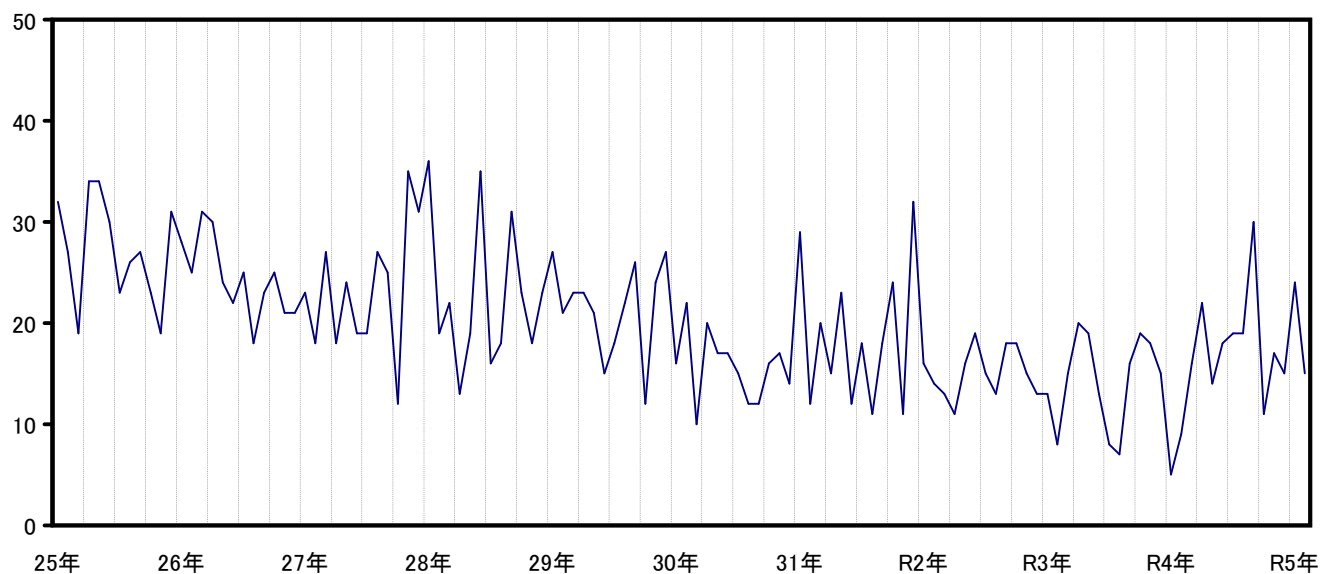


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和5年7月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>6月の国内二輪車生産台数は、64,464台（前年同月比31.5%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、8,267台（同21.6%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、5,659台（同15.5%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、5,973台（同19.2%増）で2か月連続で前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、44,565台（同56.0%増）で、12か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、31,693台（同8.5%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。輸出向けは、40,491台（同44.3%増）で、11か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>6月の自動車国内生産台数は、763,470台（前年同月比 14.2%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。輸出は408,641台（同 32.5%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、トラックが2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、乗用車が6か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも6か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>7月の冷蔵庫の国内出荷額は465億円（前年同月比4.6%減）で、6か月連続で前年実績を下回り、国内出荷台数は386千台（同 3.1%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>7月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,106千台（同 23.8%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。業務用は78千台（同 7.1%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>7月の携帯電話の国内出荷台数は、313千台（同 77.9%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、219千台（同 82.6%減）で、10か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は69.9%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>7月の工作機械の受注総額は、1,143億4,000万円（前年同月比 19.7%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は749億5,500万円（同 17.1%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが291億3,200万円（同 31.3%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。内需は393億8,500万円（同 24.2%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業や関連団体からは、「売上高等は変わらないが、全体的に見た景気感は悪い傾向にある。」「高齢化が進み技術・技能の伝承が難しい。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

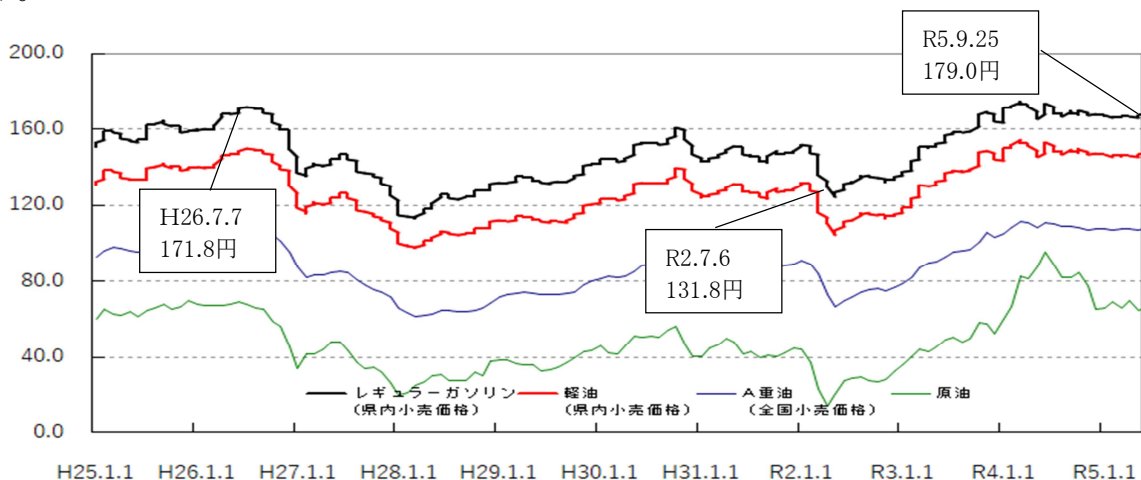
業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>7月の県内楽器メーカーの販売金額は、59億8,602万円（前年同月比7.1%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。内訳は輸出向けが39億3,681万円（同20.8%増）で、12か月連続で前年実績を上回り、国内向けが20億4,921万円（同12.0%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>ピアノ生産台数は3,447台（同2.8%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが2,213台（同10.2%減）、グランドピアノが1,234台（同14.2%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,334台（同11.7%減）で2か月ぶりに前年実績を下回り、国内向けが932台（同16.5%減）で3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>7月の紙・板紙の国内出荷高は、1,675千ト（前年同月比7.4%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は779千ト（同9.3%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。板紙は895千ト（同5.8%減）と、10か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、403千ト（同10.9%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、144千ト（同1.6%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>7月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,021千箱（前年同月比9.4%減）と6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は745千箱（同9.7%減）と2か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は509千箱（同11.6%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は275千箱（同8.4%減）と4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,353千箱（同7.2%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>7月の広幅織物の県内生産は、676千㎡（前年同月比8.2%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、628千㎡（同7.1%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、47千㎡（同20.1%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、19千㎡（同23.7%増）で、15か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>7月の全国百貨店での家具販売額は、44億6,949万円（前年同月比7.1%増）と4か月ぶりに前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、609億8,487万円（同2.5%増）と6か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>7月の県内百貨店・スーパーの販売額は、38,847百万円（既存店前年同月比3.3%増）と前年同月の実績を上回った。品目別に見ると、家庭用品で前年同月の実績を下回ったが、衣料品、身の回り品及び食料品の売上げが前年同月と比較して増加した。</p> <p>西部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。特に、雑貨（化粧品、美術・宝飾・貴金属等）の売上げが好調だった。また、催事の来客数も増加した。</p> <p>中部の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。土用の丑の日は、うなぎの売行きが好調だった。夏の地域イベントが復活して、オードブルや寿司等の予約注文が多くなっている。</p> <p>東部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。旅行需要の高まりから、旅行用品の売上げが好調だった。また、物価高騰の影響により、販売価格が上昇したため、必要な商品を厳選して購入する傾向が見られた。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和5年7月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約35万人で、前年同月比19.9%増となった。</p> <p>本年の7月は、団体旅行に対する全国旅行支援の延長期間であったことや、晴れの日が多く、天候に恵まれていたことなどが要因と考えられる。</p> <p>主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約63万台となり、前年同月比2.8%増となった。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 静岡県観光政策課</p>

<原油高の状況について>

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー179.0円/Lと、平成20年8月以来の高水準。



出典：石油情報センター

Ⅳ データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R 4年11月	12月	R 5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
完成車生産台数(台)	30,059	26,935	24,502	26,832	27,553	23,018	23,336	28,877	16,417
前年同月比(%)	10.9	4.4	16.4	▲ 0.8	▲ 1.6	▲ 0.7	36.8	8.1	▲ 37.6
KD輸出額(百万円)	1,633	1,573	1,491	1,576	1,663	1,746	1,210	789	1,350
前年同月比(%)	14.4	4.6	4.0	▲ 2.8	▲ 14.3	▲ 9.6	6.8	▲ 11.3	36.5

<楽 器>

	R 4年11月	12月	R 5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
生産総額(百万円)	3,276	3,236	2,827	3,294	3,528	3,269	3,439	4,012	3,738
前年同月比(%)	7.2	9.2	1.4	12.7	9.1	4.6	29.0	26.3	16.6

<缶 詰>

	R 4年11月	12月	R 5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
食缶生産高(千ケース)	1,022	1,010	914	910	1,023	1,008	916	982	1,021
前年同月比(%)	1.7	14.8	3.5	▲ 2.7	▲ 0.7	▲ 4.2	▲ 2.2	▲ 18.5	▲ 9.4
うち水産缶詰(%)	1.9	15.9	4.9	▲ 8.3	▲ 4.0	▲ 3.9	4.0	▲ 17.0	▲ 9.7
農畜産缶詰(%)	1.3	12.1	0.7	10.6	7.2	▲ 5.0	▲ 16.5	▲ 22.6	▲ 10.0
飲料缶生産高(千ケース)	6,413	6,473	5,066	6,130	7,467	7,837	7,674	7,495	7,353
前年同月比(%)	3.5	17.5	7.3	0.6	0.5	11.0	▲ 0.2	▲ 5.4	▲ 7.2

<織 維>

	R 4年11月	12月	R 5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
広幅織物(千㎡)	903	746	747	691	708	676	644	693	676
前年同月比(%)	11.0	▲ 2.5	0.0	4.8	▲ 7.9	▲ 7.2	▲ 4.8	▲ 6.3	▲ 8.2
小幅織物(千㎡)	17	20	15	16	19	19	20	19	19
前年同月比(%)	29.3	37.1	3.1	0.8	12.1	10.5	15.6	11.2	23.7

<観 光>

	R 4年11月	12月	R 5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,705	1,700	1,417	1,454	1,914	1,521	1,724	1,342	1,820
前年同月比(%)	9.2	▲ 0.4	8.8	50.4	30.9	8.3	15.4	16.5	7.2
観光施設(10施設)入込 (千人)	389	298	352	321	494	463	543	316	347
前年同月比(%)	▲ 5.7	▲ 3.8	29.2	63.1	20.1	7.1	▲ 0.9	19.1	19.9
有料道路(4路線)通行 量(千台)	608	620	548	557	644	560	607	523	626
前年同月比(%)	0.1	0.4	5.6	19.8	3.4	2.0	▲ 2.9	▲ 3.9	2.8

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告

令和5年9月号 通巻569号

発行 静岡県経済産業部
令和5年9月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/index.html>